

# 火災情報システム提案書

## 概要

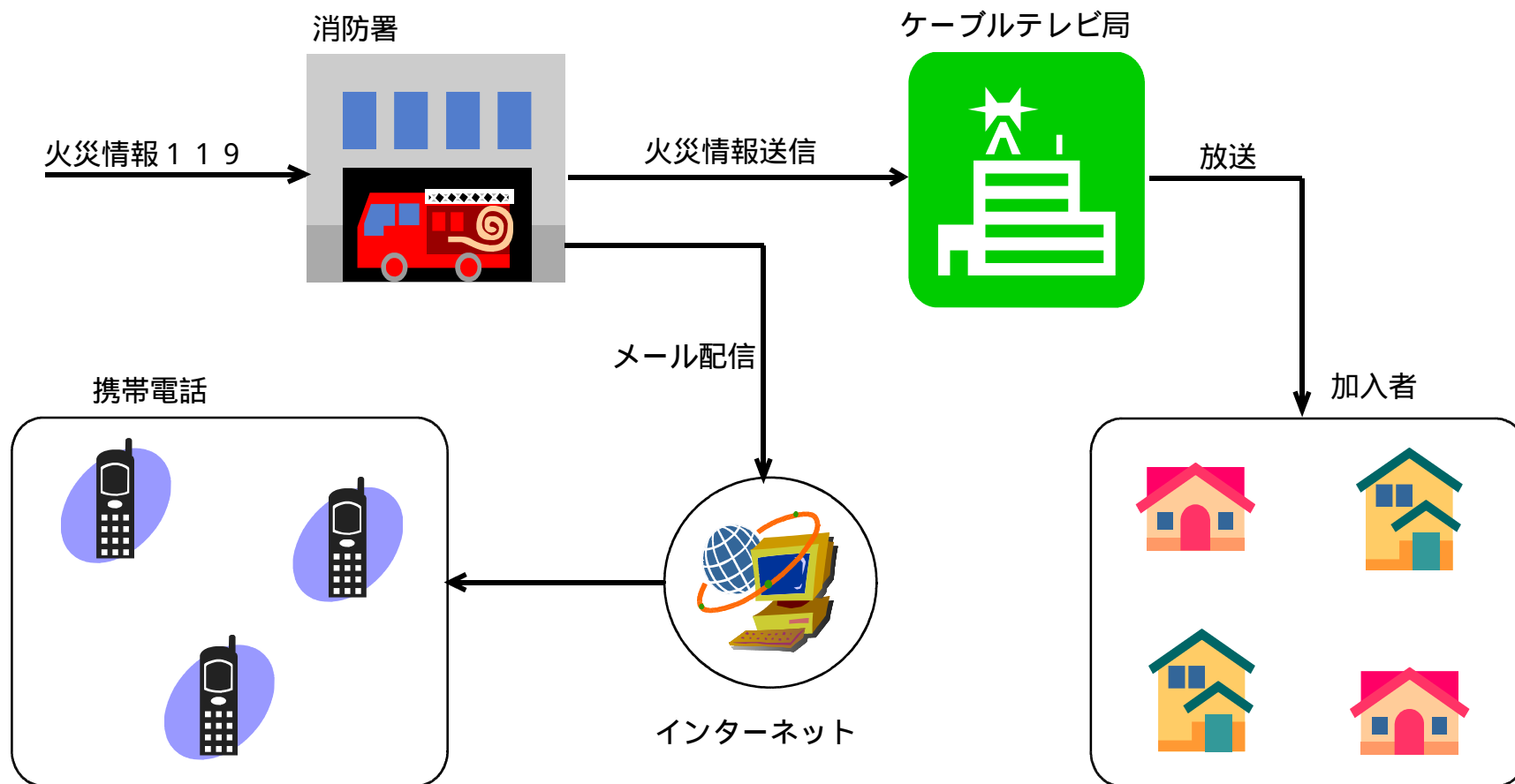
このシステムは火災発生時、その情報を消防署の操作によってケーブルテレビに送信し、自主番組チャンネルに切替表示、放送します。オプション機能として、インターネットを使って携帯電話にメールを配信することが可能です。

消防署での情報入力以外はすべて自動化されており、あらかじめ設定した内容で火災情報のCATV加入者への放送、消防関係者へのメール配信が自動的に行われます。また、情報放送終了も自動的に行われます。

火災発生時、消防署側ではタッチスクリーン(システムによりマウス操作)で火災情報を入力します。ここで入力された情報は文字情報としてケーブルインターネットを通してケーブルテレビ局に送られます。この文字情報はケーブルテレビ側のコンピュータであらかじめ決められたフォーマットに変換され番組を一時的に中断して放送されます。

また、情報が文字データとして扱えるため、消防関係者の携帯電話にメールとしてその情報を伝えることができ、より迅速な消防活動に役立つと思います。

# 火災情報伝達イメージ



## 動作の流れ

( 1 ) 消防署に 1 1 9 番通報が入る

( 2 ) その情報を消防署に設置されたの端末に入力

この作業は消防署の職員が行う。容易に入力が行えるようにタッチパネル上のボタンを選択するだけで入力完了できる。送信ボタンを押すと、その後の動作は自動化され、何も操作する必要はなくなる。(システムによってはタッチパネルではなくマウス操作になります)

( 3 ) 情報がケーブルテレビに送られる。

ケーブルテレビへの電送はケーブルインターネット回線を使用する。

( 4 ) ケーブルテレビに設置された機器がその情報を決められたフォーマットに変換し画像として自主チャンネルに送出する。

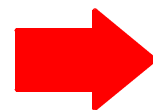
表示位置、表示時間、タイミング、インターバルなどは任意に設定可能。情報表示はあらかじめ設定された表示を繰り返した後、自動的に終了します。

( 5 ) 同時にあらかじめ登録された携帯電話に対し、火災情報を E メールで配信する。( オプ シ ョ ン )

これは、地域の消防団員や、緊急連絡が必要な人に連絡するための機能です。火災発生場所、火災種類に応じて、メール配信するグループを設定可能。

# 火災情報放表示イメージ

通常放送中



火災情報時



火災情報の表示位置、表示時間、インターバルなどは任意に設定可能

# 消防署情報入力イメージ

火災情報システム 入力パネル

<b>状況</b> 発生 鎮火 誤報	<b>地区名1</b> 朝日町 佐世保市 武内町 武雄町 橘町 西川登町 東川登町 若木町	<b>地区名2</b> 竹下町 あ か さ た な は ま や ら わ	<b>地区名3</b> ○○○商店	<b>時刻 (時:分)</b> 20:45 7 8 9 4 5 6 1 2 3 0 現在時刻 時刻 消去
-----------------------------	---	--	----------------------	--

火災種別  
建物火災  
林野火災  
車両火災  
船舶火災  
航空機火災  
爆発火災  
その他の火災

ここで選択されたグループにメールが配信されます。

送出制御  
送出  
テスト 中止

開く	テスト送信文	送信文 消去	送信文
保存	火災予防週間 マッチ1本火事のもと 火遊びはやめましょう	▶	20時45分頃、武雄町竹下町○○○商店付近で 建物火災が発生しました

- ( 1 ) 状況の欄で発生状況、種別の欄で火災の種類を選択します。
- ( 2 ) 地区名選択で地区名を選択します。地区名が多い場合はその頭文字のタブが右側に現れます。該当するタブを選択するとそれに該当する町名一覧が表示されるのでその中から町名を選択します。
- ( 3 ) 地区名 2、地区名 3 も同じように選択します。地区名データの入力によっては地区名 2 や地区名 3 が無いものもあります。
- ( 4 ) 発生時刻を数字ボタンで入力する。もしくは現在時刻のボタンで時刻を入力する。必要がなければ入力しないこともできます。
- ( 5 ) ボタンを押すだけで対応できない場合はキーボードから入力します。入力した各データは画面下の確認欄に表示されます。入力に間違いがなければ送信ボタンを押します。送信ボタンは間違いを避けるため確認メッセージが再度表示されます。送信パターン、送信時間は初期設定で設定した内容で送出されます。そのほか、火災情報テスト用の文字列などは別途、記憶しておき、テストに使用できます。

# システム系統

火災情報システム系統図

